

## 「せかいいち うつくしい ぼくの村」



自然が美しく、おだやかなアフガニスタンのある村にすむ少年ヤモ。  
ある日、村でできたくだものを売りに町へ行きました。  
そんなおだやかな生活の中にも、いまわしい戦争のかけが...

小中1  
小林 豊作・絵  
ポプラ社 1260円

## 「ファール昆虫記の虫たち」



「ファール昆虫記」に登場する虫たち1匹1匹にもいるんな物語があります。  
そんな物語に、虫たちのおどろくほどカラフルで美しいイラストをそえてお届けします。

小中2  
熊田千佳慕文・絵  
小学館 1995円

## 「地球のまんなか」



フリズル学級の子どもたちが地球のまんなかへたんけんにかかります。  
地球のまんなかには、なにがあるの？

小中3  
ジョアンナ・コール 文 / ブルース・ディーキン 絵 / 藤田千枝 訳  
岩波書店 1575円

## 「お母ちゃんお母ちゃんむかえにきて」



親もとを遠くはなれて、先生と子どもの集団生活がはじまった。  
けんかとシラミと空ふくと、さみしさの日ははなれないいつまで続くのだろうか。  
昭和19年、日本が戦争をしていたころのお話です。

小中4  
奥田継夫 文 / 梶山俊夫 絵  
小峰書店 1365円

## ブックリスト

# 本のもり

### <小学校中学年編>

子どもの読書活動推進のための懇談会

\*表示価格は税込定価です

(平成18年3月現在)

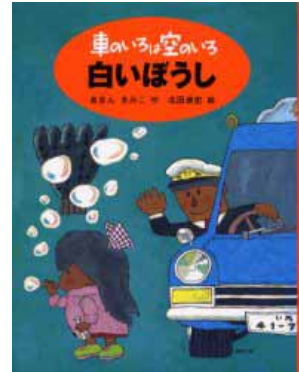
## 「よあけ」



山にかこまれた湖のほとり。  
野じゆくするおじいさんとまごの姿があるばかり。  
ページをめくるたび、しだいに夜が明けてゆく。  
そこにあるもののささやきが、静けさの中から伝わってくる美しい絵本。

小中5  
ユリー・シュルヴィッツ 作・画 / 瀬田貞二 訳  
福音館書店 1260円

## 「車のいろは空のいろ 白いぼうし」



山ねこ先生やくまの紳士。  
ふしぎなお客を乗せて松井さんの空色タクシーはいったいどこまで行くのかな？

小中6  
あまんきみこ 作 / 北田卓史 絵  
ポプラ社 1050円

## 「おじいちゃんの口笛」



おじいちゃんのいないベツラはある日、老人ホームですてきなおじいちゃんを見つけます。  
とても短いお話ですが、少年と老人の温かいふれあいが、いつまでも心にのこります。

小中7  
ウルフ・スタルク 作 / アンナ・ヘグルンド 絵 / 菱木晃子 訳  
ほるぷ出版 1529円

## 「ブンク マイんチャ」



ままははにいじめられているブンクという女の子が、ふしぎな力を持つヤギのおかげで幸せになるというネパールの民話。

小中8  
大塚勇三再話 / 秋野亥左 作画  
福音館書店 780円

## 「ねむりひめ」



多くの人が知っている、グリムの昔ばなしを、ホフマンの美しい絵で語りかけます。

小中11  
フェリクス・ホフマン絵 / せた ていじ 訳  
福音館書店 1365円

## 「魔女がいっぱい」



ほんものの魔女はどこにでもいる。姿かたちはふつうの女の人。でもその実体は...。魔女軍団を相手にぼくとおばあちゃんが大活やく。ワクワクドキドキ、奇想天外な物語。

小中9  
ロアルド・ダール作 / ケンティン・ブレイク絵 / 清水達也・鶴見敏 訳  
評論社 1365円

## 「クマのプーさん」



クリストファー・ロビンのくまのぬいぐるみプーが、ロビンやなかまたちとくり広げるゆかいなお話。

小中12  
A. A. ミルン作 / 石井桃子 訳 / E. H. シェパード 絵  
岩波書店 1365円  
(表紙は岩波少年文庫)

## 「十二支のお節料理」



お正月をむかえるための準備を十二支の動物が順番にしています。日本の古くからのならわしが、楽しい絵で語られています。

小中10  
川端 誠 作 絵  
BL出版 1365円

## 「お江戸の百太郎」



岡っ引き千次のせがれ百太郎は、父親よりも頭の回てんがよく、とり物の手伝いをしています。百太郎は、江戸の下町を舞台に犯人探して大かつやくです。

小中13  
那須正幹作 / 長野ヒデ子 画  
岩崎書店 1325円

京都市図書館では、子どもの読書活動の振興について、関係団体の皆様と『子どもの読書活動推進のための懇談会』を設け、その振興方策等を協議してきました。

平成13年12月、「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定されたことを記念して、平成14年4月に子どものためのブックリストを作成しました。

このリストには、子どもに読んでもらいたい本の中で、図書館や書店において入手できるものを、年代別に各30冊選びました。

このブックリストが、子どもが本を読むきっかけになれば幸いです。

平成18年4月

子どもの読書活動推進のための懇談会

- ・京都市PTA連絡協議会
- ・京都市子ども文庫連絡会
- ・京都市小学校図書館研究会
- ・京都市立中学校教育研究会図書館教育部会
- ・京都市私立幼稚園協会
- ・京都市保育園連盟
- ・京都府書店商業組合
- ・京都市図書館

## 「ひろしまのピカ」



リトル・ボーイという名の原子ばくだんが7さいのみいちゃんから幸福をうばいさりました。「ピカはひとがおとさにゃ、おちてこん」という言葉とともに、わすれてはならない絵本です。

小中14  
丸木 俊文 絵  
小峰書店 1575円

## 「長くつ下のピッピ」

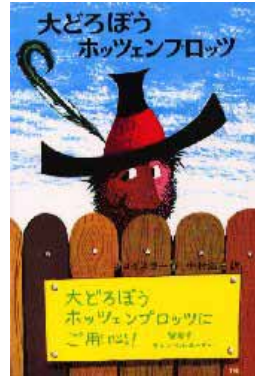
長くつ下のピッピ



大金持ちで力持ち、左右に色のちがう長いつ下と大きなくつをはいた9さいの女の子ピッピ。だれのまねもせず、自然でのびのびしたピッピの生き方が、私たちを魅了します。

小中15  
リンドグリーン作 / 大塚勇三訳 / 桜井 誠絵  
岩波書店 1785円  
(表紙は岩波少年文庫)

## 「大どろぼうホツェンプロッツ」



おばあさんの大切なコーヒーひきが、大どろぼうのホツェンプロッツに盗まれてしまった。彼をつかまえようと二人の少年の大活やくがはじまった。

小中19  
プロイスラー作 / 中村浩三訳  
偕成社 945円

## 「地球の用事」



童謡「ぞうさん」の作者として知られる、まどみちおさんの童謡集です。小さなアリから宇宙のはてまで、すべてをあたたくつつむまどさんの世界に心を遊ばせてみませんか。

小中16  
まど みちお著  
JULA出版 1260円

## 「クローディアの秘密」



アメリカ最大のメトロポリタン美術館へ家出したクローディアとジェミーがミケランジェロのなぞにいどみます。軽快な語り口で姉弟の成長をいきいきと描くゆかいで素てきな物語。

小中20  
E.L.カニクスバーグ作 / 松永ふみ子訳  
岩波書店 714円

## 「日本の神話」



私たちのだれも知らない、はるか昔の日本。空のはてに、海の底に、地上に、また地の底にもたくさんの神々が住んでいた... そんな、むかしむかしのお話です。

小中17  
松谷みよ子文 / 司 修絵  
のら書店 1575円

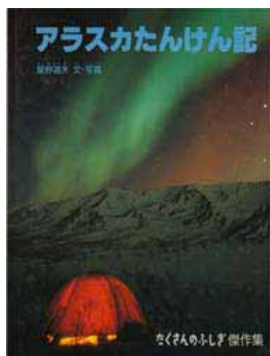
## 「視覚ミステリーえほん」



視覚のマジック。ページをめくっていくとそこは、まか不思議な世界。思わずエー、うーん、見えた！と声を出しているかも。

小中21  
ウォルター・ウィック作 / 林田康一訳  
あすなる書房 1890円

## 「アラスカたんけん記」



美しい写真と、具体的な文章から、アラスカの自然の厳しさが、ひしひと伝わってきます。そんな厳しさのなか、過こな旅をし続ける著者の情熱には、感動をよびおこす力があります。

小中18  
星野道夫文・写真  
福音館書店 1365円

## 「ハナさんのおきゃくさま」



森の入口にひっこした、ひとりぐらしのハナさんは、とっても、おもてなし上手です。お客さまがすぐく待ちどおしい。山ばあさんにおばけの子... さあ、いっしょにあそびましょう。

小中22  
角野栄子作 / 西川おさむ絵  
福音館書店 1470円

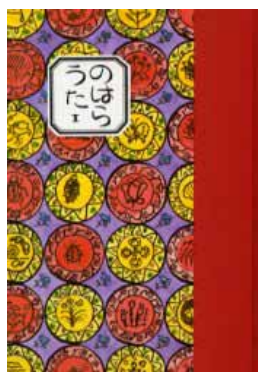
## 「チム・ラビットのぼうけん」



好奇心いっぱいの子うさぎチムは、毎日新しい発見をしたり、そして、ときには失敗もしたり…。心あたたまるお話のつまった一冊です。

小中23  
アリソン・アリー 作 / 石井桃子訳 / 中川宗弥画  
童心社 1575円

## 「のはらうた」



こぶたはなこさん、こうしたろうくん、かぜみつるくんなど、のはらのみんなの「し(詩)」です。ことばのリズムが心地よく、ほのぼのとした気持ちになれる一冊です。

小中27  
くどうなおこ詩  
童話屋 1313円

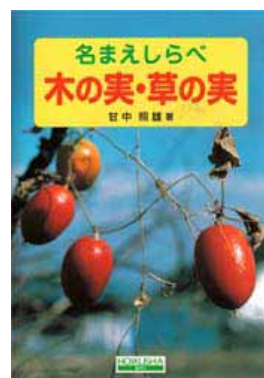
## 「ふしぎな木の実の料理法」



ある日届いたふしぎな木の実。食べ物らしいが、料理方法がわからない。うんざりしつつも、誰か料理方法を知らないかと、“こそあどの森”の人たちをたずね歩くスキッパーだが…。

小中24  
岡田淳 作  
理論社 1575円

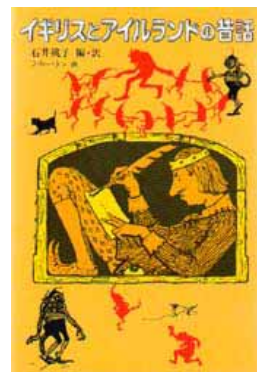
## 「名まえしらべ 木の実・草の実」



野山を歩くといろいろな実と出会います。見つけたらこの本で調べてみませんか？食べられる実もあるし、毒のある実もありますよ。

小中28  
甘中照雄著  
保育社 1575円

## 「イギリスとアイルランドの昔話」



以前、あかね書房から出版された「イギリス童話集」にケルト族の昔話をくわえ、訳も手直しされて復刊された。子どもたちにも語りやすい昔話集となっている。

小中25  
石井 桃子編・訳 / J・D・バトン画  
福音館書店 1680円

## 「がんばれヘンリーくん」



ある日、ヘンリー君はガリガリにやせて汚れた犬に出会います。その犬を飼いたくなったヘンリー君は、バスに乗って家まで犬を連れて帰るため、あれこれためてみますが…。

小中29  
アリアー作 / 松岡享子訳 / ダーリング絵  
学習研究社 945円

## 「小さな山神スズナ姫」



喜仙(きせん)山脈に喜仙大厳尊(きせんおおいわのみこと)という偉大な山神様が、一人娘のスズナ姫と住んでいます。スズナ姫は山神として独立を許してもらおうと、スズナ山の木の葉の色をそめ変えてみますが…。

小中26  
富安陽子作 / 飯野和好絵  
偕成社 1050円

## 「もうすぐ飛べる！」



クラスの中でいじめにあった春海。出口のない暗やみの中にただよっている春海の心。そんな時、巣から落ちたヒナを見つける。ヒナの成長と自分自身を見つめながら、やがて飛びたとうとするヒナに勇気ももらう。

小中30  
越水利江子作 / 津田真帆絵  
大日本図書 1300円

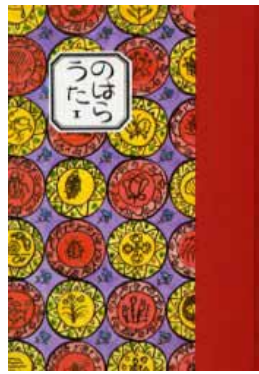
## 「チム・ラビットのぼうけん」



好奇心いっぱいの子うさぎチムは、毎日新しい発見をしたり、そして、ときには失敗もしたり…。心あたたまるお話のつまった一冊です。

小中23  
アリゾン・アトリ 作 / 石井桃子訳 / 中川宗弥画  
童心社 1575円

## 「のはらうた」



こぶたはなこさん、こうしたろうくん、かぜみつるくんなど、のはらのみんなの「し(詩)」です。ことばのリズムが心地よく、ほのぼのとした気持ちになれる一冊です。

小中27  
くどうなおこ詩  
童話屋 1313円

## 「ふしぎな木の実の料理法」



ある日届いたふしぎな木の実。食べ物らしいが、料理方法がわからない。うんざりしつつも、誰か料理方法を知らないかと、“こそあどの森”の人たちをたずね歩くスキッパーだが…。

小中24  
岡田淳 作  
理論社 1575円

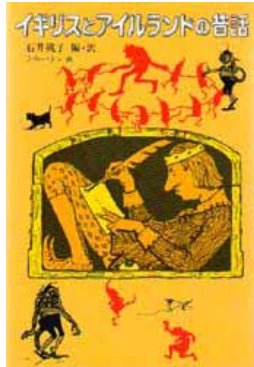
## 「名まえしらべ 木の実・草の実」



野山を歩くといろいろな実と出会います。見つけたらこの本で調べてみませんか？食べられる実もあるし、毒のある実もありますよ。

小中28  
甘中照雄著  
保育社 1575円

## 「イギリスとアイルランドの昔話」



以前、あかね書房から出版された「イギリス童話集」にケルト族の昔話をくわえ、訳も手直しされて復刊された。子どもたちにも語りやすい昔話集となっている。

小中25  
石井 桃子編・訳 / J・D・バトン画  
福音館書店 1680円

## 「がんばれヘンリーくん」



ある日、ヘンリー君はガリガリにやせて汚れた犬に出会います。その犬を飼いたくなったヘンリー君は、バスに乗って家まで犬を連れて帰るため、あれこれためてみますが…。

小中29  
アリアリ作 / 松岡享子訳 / ターリング 絵  
学習研究社 945円

## 「小さな山神スズナ姫」



喜仙(きせん)山脈に喜仙大厳尊(きせんおおいわおのみこと)という偉大な山神様が、一人娘のスズナ姫と住んでいます。スズナ姫は山神として独立を許してもらおうと、スズナ山の木の葉の色をそめ変えてみますが…。

小中26  
富安陽子作 / 飯野和好絵  
偕成社 1050円

## 「もうすぐ飛べる！」



クラスの中でいじめにあった春海。出口のない暗やみの中にただよっている春海の心。そんな時、巣から落ちたヒナを見つける。ヒナの成長と自分自身を見つめながら、やがて飛びたとうとするヒナに勇気をもらう。

小中30  
越水利江子作 / 津田真帆絵  
大日本図書 1300円